

高校生が熱心に受講した講座



福島、福島医、福島学院、桜の聖母

4大学合同で高校生講座

看護や食育テーマに初

福 島

福島市内にある福島大、福島医大、福島学院大・同大短期大学部、桜の聖母短大の四大学・短大は十六日、福島市本町の福島学院大駅前キャンパスで、高校生のための大学講座「看護・介護・福祉・食育を学ぶためには？」を開いた。四大学が連携した合同講座は初の取り組み。今後も高校生を対象にした同様の講座を開き、大学・短大での勉学に向けた心構えを身に付ける機会を提供する。

各大学・短大の教授、講師が専門分野に応じて教壇に立った。福島医大看護学部の工藤真由美講師が「看護職の可能性、看護の仕事とは・看護学部で求められる資格・これから求められる看護職とは」と題して語った。続いて、福島大共生システム理工学類の高橋隆行教授が「新発想の障害者支援機器」介護福祉への工学的アプローチ」、福島学院大福祉学部の星野仁彦学部長が「福祉心理を学ぶにあたって」、桜の聖母短大の南江美子講師が「食育を学ぶにあたって」のテーマでそれぞれ講義した。参加した高校生約六十人は熱心に耳を傾けていた。参加者を交えた討論会を催したほか、各大学がブースを設け、個別相談に応じた。